

CDE-MIYAGI資格取得のメリット



- ① 質の高い糖尿病療養指導の知識・技術を身につけ、さらに維持・向上できる
- ② 宮城県内の糖尿病療養指導に関する研修会の情報を、会員専用ホームページから入手できる
- ③ 仲間が増えると「顔の見える連携」がしやすくなる
- ④ 患者指導のパンフレットやインスリン自己注射の補助具等の療養指導ツールを入手しやすくなる

CDE-MIYAGI資格取得者にインタビュー



薬剤師 佐藤 梨恵さん (第1回資格取得者)

Q1. CDE-MIYAGIの資格を取得したきっかけ

以前からCDEJに興味・関心を抱いていましたが、条件を満たすことが出来ませんでした。糖尿病患者様に対し服薬指導を行っている中で、糖尿病は生活習慣や遺伝的要因などが密接に関与し、もっと多角的なアプローチを必要とする疾患だと感じていました。薬剤だけでなく患者様の背景を理解し、指導を行えるよう知識を総合的に取得できるきっかけを探しているときに知り、資格取得に至りました。

Q2. CDE-MIYAGIとして1年間活動してみたの感想

糖尿病であることを自覚している方とそうでない方で、質問する内容や指導時間・患者の理解度にばらつきがあると感じています。個々の背景の違う患者様に対して同じ伝え方・内容で伝えても理解度が一定にならない事に気づきました。そんな時は、医師や看護師など他の医療職種に意見を聞いたり、患者様に指導して頂いたりします。個々にあったやり方・内容を医療職種の全体で考えることの大切さと難しさを知りました。

Q3. 今後の抱負や目標、活動予定について

日々変化していく治療のスタンダードについていくために、勉強会への参加や宮城県糖尿病療養指導士の方々との交流の場に参加し、その知識を地域患者様に反映することを目指しています。また、一昨年から非常勤の糖尿病専門医が着任し、CDEJの受験条件を満たすことが出来るようになりました。糖尿病専門医の診察に立会い、指示や指導介入内容を提案・相談させて頂いています。日々の患者様へ指導や医療従事者間での連携を行いCDEJを目指しています。

院内での薬剤指導の様子



Q1. CDE-MIYAGIの資格を取得したきっかけ

糖尿病と相互関連性を有する歯周病は、国民の8割が罹患しているといわれています。日々、歯周病を有する患者様に接する歯科衛生士として、糖尿病についての正しい知識を習得するとともに、看護師や管理栄養士などの関係職種とそれぞれの専門性を理解しあい、連携して糖尿病を有する患者様の医療に貢献したいと思いました。

Q2. CDE-MIYAGIとして1年間活動してみたの感想

自分が勤務している病院の歯科診療においても、糖尿病を合併している患者様が多くみられます。

糖尿病手帳を見て血糖コントロールが出来ていることや、食事のお話しなどから日常工夫している事、口の状態からしっかりと噛めているか等を確認しています。また、CDE-MIYAGI公式ホームページの会員専用ページに公開されている様々な研修会に参加し、他職種の視点でのアプローチなど勉強させていただき、糖尿病を有する患者様への療養指導に役立っています。

Q3. 今後の抱負や目標、活動予定について

患者様の訴えを聴き、状態にあったケアを提供できるよう多職種と連携しつつ、歯周病と糖尿病相互に改善できるようCDE-MIYAGIでの知識・技術の向上を目指していきたいと考えています。

今後、資格取得した歯科衛生士らと糖尿病患者との関わりなどについて話しあえる機会が出来るといいなと思います。

歯科衛生士 小野 ゆかりさん (第1回資格取得者)



2019年世界糖尿病デーin宮城の歯科担当スタッフと

